

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名 ：一般国道1号 新湘南バイパス <small>がまがけのふしぎ持しじょうなんさんちやうめ</small> 起終点 ：自：神奈川県藤沢市城南三丁目 <small>がまがけのふしぎ持しじょうなんさんちやうめ</small> 至：神奈川県中郡大磯町大磯	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：国土交通省 関東地方整備局 延長 ：6.7km	
事業概要 ：新湘南バイパスは、横浜と湘南地域及び西湘地域の連携強化を図ることを目的として計画された一般有料の地域高規格道路である。今後、さがみ縦貫道路、高速横浜環状線、横浜湘南道路と連絡し、当該地域の広域幹線道路網を形成し、事業区間と並行する国道1号等の交通混雑の緩和を図る。			
S60年度事業化	S63年度都市計画決定	S63年度用地着手	H2年度工事着手
全体事業費 ：890億円 事業進捗率 ：約50% 供用済延長 ：1.2km 計画交通量 ：27,600～44,000台/日			
費用対効果分析結果	B/C ：(事業全体) 2.5 (既供用区間を除く区間) 2.4 (残事業) 7.2	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 340/987億円 事業費 ：300/947億円 維持管理費 ：40/40億円	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 2,460/2,460億円 基準年 ：平成19年 (走行時間短縮便益)：2,312/2,312億円 (走行経費減少便益)：99/99億円 (交通事故減少便益)：49/49億円
感度分析の結果 ：事業全体・残事業について感度分析を実施 【事業全体】 交通量：B/C=2.2～2.8 (交通量±10%) 事業費：B/C=2.3～2.8 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.9～3.1 (事業期間±20%) 割引率：B/C=1.8～3.5 (割引率±1%)			
事業の効果等 ：地域高規格道路の位置づけあり・対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけのある路線他12目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 ：新湘南国道並びに藤沢大磯線(湘南新道)新設改良促進協議会：整備促進を要望			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ：平成7年部分供用(L=1.2km)			
事業の進捗状況、残事業の内容等 ：未供用区間の用地買収を促進(L=5.5km)			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ：用地交渉において、一部交渉が難航している箇所があり時間を要している。大規模移転物件の代替地確保について移転先が決定。沿道住民の理解を得られるよう地元調整を進める。			
施設の構造や工法の変更等 ：施工方法の合理化や新技術の積極導入など、コスト縮減に努めて事業を促進します。			
対応方針 ：事業継続			
対応方針決定の理由 ：以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。